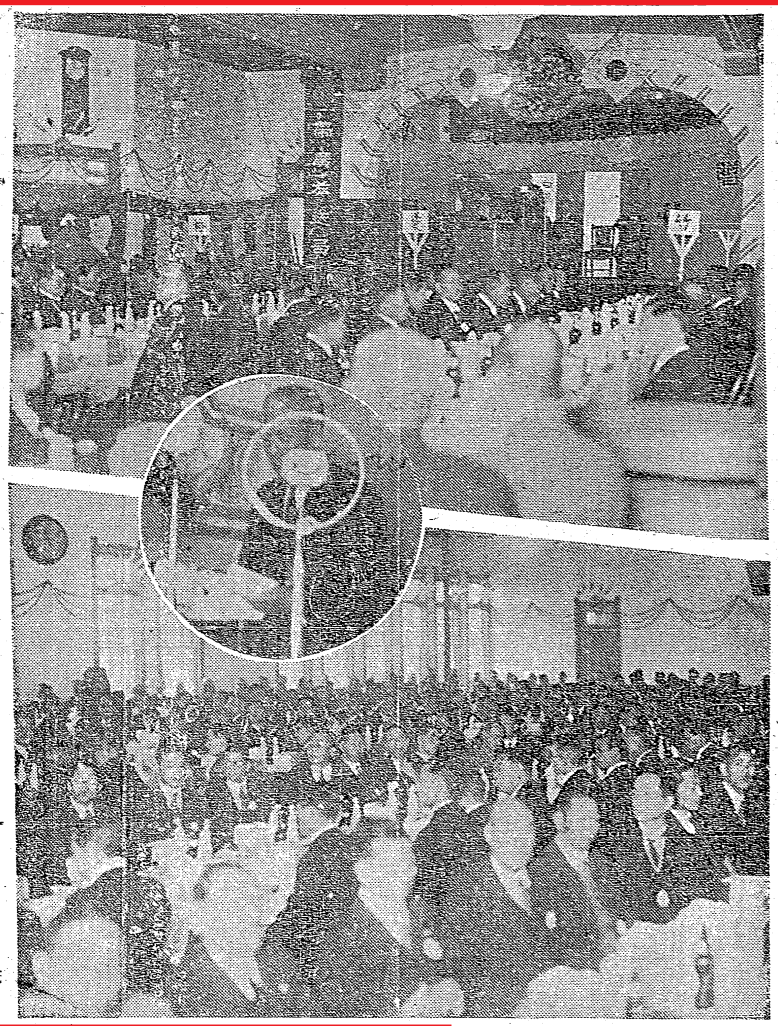
帯廣放送局開局讃譜

（上）小森放送協會長の式辭朗讀（中）渡部市長の祝辭（下）會場を埋めた來賓



電波に乘つて はるばるよろこび

四百五十名の來賓會館を埋め

帯廣放送局開局の賑ひ

本年度の學校の學期末的な帯廣放送局の開局式は二十二日午前十時より十勝會館に於て挙行された是より先午前十時大野社司の祭の下に放送局舎の修祓式を厳粛に執行の後動墓をもつて開式を宣言した

四百五十名の來賓はさしもに廣き會館大廣間を埋め盛しも會場の盛況裡に引續き船水社長の開式の辭ありて一同起立、帝國歌プラスバンドの君代の奏樂ありて小森日本放送協會長（代理）の式辭ありて來賓鎮座水野社長、秋原札幌局長（代理）池田長官（外山拓殖部長代理）渡部帯廣市長、伊谷師工會議員三宅檢事局長の祝辭ありの後船水局長の開式の辭ありて開宴の間興として帯見民謡連の長唄式三番叟踊り、民謡及び談歌謡曲浪曲等の餘興に參會者一同充分に歓を盡して午後二時散會したが當日の來賓は逐一全國に中継放送され盛儀に溢りなく終了した

各方面よりの祝電

（來賓）

（會員）

（會員）

（來賓）

（來賓）

（來賓